

平成27年6月14日作成

平成27年6月22日修正

## 第13期 男女共同参画学協会連絡会 第2回運営委員会議事録（案）

日時：平成27年4月27日（月）15：00～17：00

場所：東京大学 本郷キャンパス 理学部2号館 講堂

出席者：

正式加盟学協会／（43学協会・79名）

藤岡恵子、所千晴、北川尚美（化学工学会）、吉江尚子（高分子学会）、宮田香織（日本宇宙生物科学会）、林ゆう子（日本化学会）、塩満典子（日本原子力学会）、尾崎美和子（日本女性科学者の会）、西村いくこ、田中寛、小松節子、本橋令子、篠村知子、平井優美、得平茂樹、華岡光正、山崎真巳（日本植物生理学会）、平田典子、芥川和雄、（日本数学会）、有賀早苗、渡辺恵子、村田律子、齊藤玉緒（日本生化学会）、別宮有紀子、木下晃彦（日本生態学会）、有坂文雄（日本生物物理学会）、養王田正文（日本蛋白質科学会）、窪川かおる、澤田美智子、小柴和子（日本動物学会）、吉田薫（日本発生生物学会）、阿見彌典子（日本比較内分泌学会）、フラナガンジョン、伊藤公平（日本物理学会）、井関祥子、小野弥子、中川真一、山口恵子（日本分子生物学会）、竹中千里（日本森林学会）、橋本香保子（日本バイオイメージング学会）、川浦香奈子、早野由里子（日本育種学会）、奥部真樹、関根あき子（日本結晶学会）、小口千明、小川佳子（日本地球惑星科学連合）、木村駿太（生態工学会）、榊原恵子（日本進化学会）、大坪久子（日本遺伝学会）、八藤後猛（日本建築学会）、植田富貴子（日本獣医学会）、澤竜一（日本質量分析学会）、須之部友基、高田未来美（日本魚類学会）、岡崎恵美子（日本水産学会）、恒次祐子、中山榮子（日本木材学会）、岩熊まき、石田佳子（日本技術士会）、戸部博、永田典子、川合真紀、植村知博、角川洋子、園池公毅、近藤由華（日本植物学会）、菅谷純子（園芸学会）、鈴木義人、越阪部奈緒美（日本農芸化学会）、徳田信子（日本解剖学会）、大竹淑恵（日本中性子科学会）、馬場広子、池島宏子（日本神経化学会）、大矢純子（計測自動制御学会）、萩裕美子（日本体力医学会）、小林富美恵（日本熱帯医学会）、今井桂子（日本応用数理学会）、荻田香苗、野村恭子（日本衛生学会）

オブザーバー加盟学協会／（9学協会・10名）

金蓮花（精密工学会）、山口理栄（日本女性技術者フォーラム）、田中真弓（地盤工学会）、濱上知樹（電気学会）、藤原すみれ（日本植物細胞分子生物学会）、本田郁子（日本細胞生物学会）、近藤高志、中内晶（応用物理学会）、関眞佐子（日本流体力学会）、江尻晶（プラズマ・核融合

学会)

委任状：正式加盟学協会（9学協会）

地球電磁気・地球惑星圏学会、日本神経科学学会、日本糖質学会、錯体化学会、種生物学会、  
日本畜産学会、日本魚病学会、日本繁殖生物学会、「野生生物と社会」学会

新規正式加盟学協会（後ほど承認）／（1学協会・1名）

渡辺悦子（日本民族衛生学会）

新規オブザーバー加盟学協会（後ほど承認）／（1学協会・1名）

野呂正行（日本数式処理学会）

男女共同参画学協会連絡会規約 5.2「運営委員会は、委員長が招集し、正式加盟学協会の3分の2の出席(委任状を含む)を以って成立する。」より、正式加盟学協会 53 の 2/3 である 36 学協会を超える 43 学協会の出席および 9 学協会の委任状提出を受け、定足数を満たしているため、本運営委員会は成立する。

開会に先立ち、西村いくこ委員長から以下の挨拶があった。

13 期の委員長を務めさせていただきます京都大学の西村と申します。皆様、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。男女共同参画学協会連絡会は、女性研究者・技術者の働く環境をよくしようと活動してまいりました。これまでも少しずつではありますが、前向きに進んできたと感じております。これは偏に学協会の諸先輩方のご苦勞と現在活躍してくださっている皆様のおかげであると考えています。今後もこれを絶やさずにやっていければと思います。13 期の目的としては、国内向け、国外向けの 2 つがあります。国内向けとしては、学協会連絡会と学術会議との連携を深めながらやっていけないかと考えています。第 4 期科学技術基本計画が終了する今年には重要な年であり、現在作成中の第 5 期科学技術基本計画に男女共同参画の考え方を盛り込んでもらうことが大きな目的となります。そこに働きかけられるのが連絡会であると考えておりますので、ぜひご協力をお願いいたします。次に国外向けとしては、まずは 2015 年にあるジェンダーサミットに参加すること、また秋のシンポジウムの一つのテーマとして、国外に目を向けてということを考えています。このような方針で皆様とご一緒にやっていければと思います。よろしく願いいたします。

## 議事

## I 確認事項

- ・第13期 第1回 運営委員会 1月14日(水) 議事録が承認された。(資料配付)

## II 報告事項

## 1. アンケートデータ利用申請および報告

永田副委員長より1件の変更申請(利用者の変更)(日本解剖学会)および3件の利用報告(国立女性教育会館、日本生理学会、日本水産学会)があったことが報告された。

- ・国立女性教育会館

今年度末に刊行予定の「男女共同参画統計データブック2015」に第3回大規模アンケート調査結果(HP掲載の資料を利用)が掲載されることが報告された。

- ・日本生理学会

連絡会シンポジウム、解剖学会、生理学会でのポスター発表および女性生理学者の会報にて使用されたことが報告された。

- ・日本水産学会

岡崎氏より、日本水産学会ホームページに報告書全編を掲載するとともに、学会春季大会において、報告書のダイジェスト版とクリアファイルを配布したことが報告された。

## 2. 後援・協賛の申請・報告

## 後援・協賛報告

- ・2014年度高専女子フォーラム in 中国(後援)

永田副委員長より2014年12月20日に開催され、報告書が提出されたことが報告された。

- ・2014年度高専女子フォーラム in 関西(後援)

永田副委員長より2014年12月23日に開催され、報告書が提出されたことが報告された。

- ・徳島大学 AWA サポートセンター(後援)

永田副委員長より2015年3月6日に「四国5大学連携女性研究者活躍推進キックオフシンポジウム」が開催されたことが報告された。

- ・日本木材学会(協賛)

永田副委員長より2015年3月16日に国際木質科学技術シンポジウムランチョンミーティングが開催されたことが報告された。また中山氏より学会会期中のランチョンミーティングとして開催され、40名以上の参加者がありその半数以上が男性だった旨報告された。

- ・日本金属学会・日本鉄鋼協会（協賛）

永田副委員長より 2015 年 3 月 20 日に第 7 回男女共同参画ランチョンミーティングが開催され、報告書が提出されたことが報告された。

- ・日本衛生学会（後援）

荻田氏より、2015 年 3 月 26 日に日本衛生学会学術総会・自由集会在開催されたことが報告された。

- ・電気協会（後援）

濱上氏より、2015 年 3 月 26 日に電気学会全国大会公開シンポジウムが開催されたことが報告された。

- ・日本農芸化学会（後援）

鈴木氏より、2015 年 3 月 27 日に 2015 年度岡山大会にて男女共同参画ランチョンシンポジウムが開催されたことが報告された。

- ・日本化学会（協賛）

林氏より、2015 年 3 月 27 日に 2015 年度日本化学会春季大会にて男女共同参画に関するシンポジウムが開催されたことが報告された。

- ・東京医科歯科大学（後援）

永田副委員長より 2014 年 12 月 23 日に「地域とつながって研究者の研究力を育てよう」が開催されたことが報告された。

「

#### 後援・協賛申請

- ・日本発生生物学会（後援）

吉田氏より、2015 年 6 月 5 日に開催される日本発生生物学会第 48 回大会第 9 回男女共同参画ランチョンワークショップについて説明された。

- ・日本科学者会議（協賛）

永田副委員長より 2015 年 6 月 14 日に開催される第 14 回女性科学者・技術者シンポジウムの協賛について説明された。

### 3. 加盟学協会の活動報告

鈴木氏より、日本農芸化学会に男女共同参画委員会が設置されたことが報告された。

### 4. WG からの活動報告

「学会を含まリーダーシップ活動の機会均等」 WG

日本分子生物学会の小野氏より、各学協会の学術集会上における演題 発表者等の「属性調査」

への協力のお願いがあった。2015年6月12日締め切り。

#### 5. 分担金振込のお願い

永田副委員長より分担金の振込について説明があった。事前調査の書類が8件未提出。分担金の支払期日は5月末日。すでに42学協会が振込済み。2件の振込元が不明。振込日4月23日と24日に振り込まれた分のIDの記載が無いため確認ができない。心当たりのある学協会は問い合わせしてほしい。また、これから振り込む学協会はIDを記載してほしい。

#### 6. その他

戸部副委員長より、学術会議に関して報告があった。学術会議内に設置された男女共同参画分科会において、第5期科学技術基本計画に男女共同参画問題を盛り込むため、学術コミュニティにおける女性研究者数の拡大方法について議論して、提言をまとめるよう内閣府より要望書がきた。それを受け、現在議論を進め、提言をまとめようとしている。一つの問題として、2020年までに指導的地位にある女性研究者等を3割に増やすことを目標としているが、効果が上がっていない点がある。学術会議として、この問題を解決するために具体的な提言をしていくことを議論している。学協会連絡会とも連携する形で進めていきたい。

日本原子力学会塩満氏より、昨年度まとめた提言のフォローアップをするのも効果的な提言になるのではないかと主旨の発言があった。

### III. 審議事項

#### 1. 第16期幹事学会の承認

第16期幹事学会を日本建築学会とすることが拍手で承認された。日本建築学会の八藤後氏から挨拶と日本建築学会の紹介があった。

#### 2. 第14期幹事学会の委員長の承認

#### 3. 新規加盟

- ・永田副委員長から日本民族衛生学会が加盟学会として資格を満たしていることを第13期事務局が加盟規約に基づいて確認したことが説明された後、日本民族衛生学会の正式加盟が拍手で承認された。渡辺氏から挨拶と日本民族衛生学会の紹介があった。
- ・永田副委員長から日本数式処理学会が加盟学会として資格を満たしていることを第13期事務局が加盟規約に基づいて確認したことが説明された後、日本数式処理学会のオブザーバー加盟が拍手で承認された。野呂氏から挨拶と日本数式処理学会の紹介があった。

#### 4. 2015 Gender Summit Asia-Pacific への参加

西村委員長より、ソウルで開催される 2015 Gender Summit Asia-Pacific において、本橋氏が第 3 回アンケート調査の結果をポスターで報告する旨、説明があった。

#### 5. 「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」への応募

日本森林学会の竹中氏より、日本森林学会と日本木材学会の主催のワークショップ「「木づかい」産業における男女共同参画推進による地域活性化」（2015 年 11 月 29 日（日）名古屋大学で開催予定）に関しての説明があった。本ワークショップは、本学協会連絡会と愛知男女共同参画社会推進産学官連携フォーラムとの共催として、内閣府「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」への応募を行う。拍手で承認された。

#### 6. 新 WG の承認

・永田副委員長より新 WG 「第 4 回大規模アンケート調査のためのプレ WG」に関して、コア学会を化学工学会、コア学会代表者を北川尚美氏とすることが説明され、その設置が拍手で承認された。北川氏から挨拶があった。

・女性科学者会の尾崎氏より、アンケート調査の公表に関して、前期に承認された現在のガイドラインにある個人からの承認を得ることなく公表してもよいという点を再検討すべきではないかとの提案があった。また、活動開始から 10 年以上経つが、解決されていない問題が多く残されている点を踏まえつつ、本連絡会の意義を合わせて考えて次の提言活動につなげていただきたいとの主旨の発言があった。また、日本原子力学会塩満氏より、アンケート調査を行うにあたり、個人情報保護法と著作権法を遵守して進めていただきたいとの主旨の発言があった。これらに対し、西村委員長より、本連絡会の当初目的を再確認して、活動していきたいとの発言があった。

#### 7. 第 13 回シンポジウムの準備状況

・シンポジウム担当田中副委員長および日本生化学および日本生化学会担当者より、第 13 回シンポジウム企画に関して説明があった。

2015 年 10 月 17 日（土）に千葉大学けやき会館で開催予定。

全体テーマ「国際的な視点から見た男女共同参画の推進」

午前の部：2 つの分科会

分科会 A 日本植物生理学会・植物学会担当

「仕事と家庭の両立を目指す男性研究者のパネルディスカッション」

分科会 B 日本生化学会担当

午後の部：全体テーマに関連

EU（ドイツとフランス）の男女共同参画の状況をそれぞれ Wiczorek 先生と小田令子先生より紹介していただく。また、名古屋大学の佐々木先生より日本の状況をお話いただく。

- ・日本女性科学者の会尾崎氏より、女性が働きやすい環境を整えるための日本に適した制度、運用を具体的に議論する分科会を検討していただきたいとの発言があった。
- ・日本原子力学会塩満氏より、日本では、育児休業期間中に競争的研究資金の受給ができない等、様々な研究活動の制限があるので、このような制限に関して、国際的な観点から分科会で取り上げていただきたいとの発言があった。
- ・これらの発言に対し、田中副委員長より、午前中の分科会でその点について議論を行い、午後にドイツ・フランスに関してコメントをいただくという案が提案された。
- ・プラズマ・核融合学会江尻氏より、物理学会では *woman in physics* という団体があり、ワークショップで国際的な情報交換を行っていることが紹介された。
- ・第 13 回シンポジウムに関して、全体テーマなど大枠について承認された。

## 9. 次回の運営委員会

永田副委員長より次回の運営委員会の予定が以下の通り報告された。

2015 年 8 月 31 日（月）15：00～17：00

東京大学 本郷キャンパス 理学部 2 号館 講堂（4 階）

西村委員長より閉会の挨拶

本日は色々なご意見をいただきありがとうございました。私も実感するところが多くあり、育児休業や 5 年ルールなどもっとフレキシブルな対応があればいいと思います。第 5 期科学技術基本計画が作成されますので、これを機会に皆様から色々なご意見を挙げていただくことが大切だと思います。なかなか進まないですが、できるところから一步一步皆様と一緒に進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。